

刊夕 東北 新聞 刊休無中 本紙一ヶ月千円 郵税二銭二部三銭 廣告料一行三銭 發行所 仙台市 印刷所 仙台市 電話 二二七

舊竪坑の古坑道へ 新斜坑が貫通し俄然出水

二十七日午前十一時頃好間村古河炭礦第一斜坑 上層本卸四片坑内に於て坑夫四十餘名が採炭作 業に従事中大音響を發して坑内に出水あり

好間古河炭礦の椿事

逃げ遅れの一名坑内で水漬り 四十名の坑夫命からしく逃げ出す 好間古河炭礦の椿事

福島市へ放送

支局設置は迷惑

石城地方フアン騒ぐ 鑽石で聴取出来ぬ為 山間の部落民或ひは 漁民等はラヂオは全く有産島市中に放送所を

酔を醒す爲に 砂原へ横になつた處を

四倉町の人妻が

石城郡四倉町字新町漁夫翁がその後同女は夫に 木某妻きみ子(三〇)假名は 去る二十五日夕刻舊二十日 盆に親戚から

平町でも豫算節減

役場新築費を眞先に

平町では縣當局の緊縮訓練 に基づき四年度当初豫算が 一割位削減するため近く 幹部會を開き實行 豫算を編成すること 當局の

松崎稻荷で

水戸大神樂

鐵北の松崎稻荷神社例祭は 二十九三十の兩日執行され るが宵祭の二十九日晚は殊 に水戸大神樂を招く由で相 當の賑ひを豫想されてゐる

昨日の 体育大會に

好間選手卒倒

石城郡聯合青年体育大會は 選手努力と絶好の日より 恵まれて長距離を除く他 の競技は何れも好記録を 出し殊に百メートルには十 一秒十分九で本縣のタイレ

富岡支局通信

小學校兒童が 「森の會」を組織

富岡營林署佐久間山林部長 突發の際等不便多かつたが 小學校兒童に對し森林愛 護の精神をかん養し保護の 徹底を期す

双葉秋蠶

双葉地方にける秋蠶摘取は 二十に六日頃からポツポ ツ行はれ最盛期は來月上旬 頃であるが相場は最上五十 五六十圓最低四十五圓普通 五十圓掛目五十五圓見當で 漸次上騰の見込であると

親の不注意から 幼児夕木鉄を飲む

共済病院で腹部開切

平町四丁目八郎二女横山ト乃の上腹部切開し之を取 り出しは去る十八日午後去つたが一命は取り止めた

川瀨炭礦の 競賣延期さる

上岡村巡査駐在所には從來 自轉車の備付けがなく事件

ライオン 眞 館 電話七四八番

隨想 淺虫雜記 (自像素描) 蓬亭若人

つまりその道徳とはだね 道徳とは所詮禁斷の本質の味を知つた人間が意心傳心的に、傳統的なる種の徳義を……たとひはエヌラエル時代のモーゼの十戒のやうなものを……律法化した集積したものにはすぎないんだ。

良品廉賣に勝る商賈なし 磐城平五丁目 和洋銅鐵金物問屋 釜屋商店 諸橋久太郎 電話九番一三九番

花 春 同優等賞受領 山崎合名會社 東京支店 電話下谷五七二番

外科一般 (入院隨意) 内臓外科専門 花柳病科 木村科外醫院 電話三〇九番

洋食 小宴會歡迎 美味で評判の 多未會堂 電話四六〇番

開業一週年記念!!! ラヂオも生れて五年 漸くにして完備した 機械の精密 記念特賣 常磐ラヂオ商會 電話五三三番

安全第一 諸債券公債類ノ御用ハ是非迅速簡易ラモットトトスル弊店ヲ精々御利用下サイ 營業 勸業債券兩替 復興債券金融 課目 公債其他 金融 平町大工町多田井質店

平看護婦會 會長 清野キヨ 平町三丁目 電話三〇七番 肉聲コロネビアレコード新荷着 初夏……野外のシトズンが來ました

大谷時計病院 電話一九番

内臓外科 骨關節外科 專門 藤本順 整形外科 產科 院長 木村寅次郎 婦人科 平新川町 木村病院 電話一六四番

内外果實問屋 藤居商店 平町三丁目 電話五四三番 慢性淋病藥 リベール 一圓 二圓 三圓 五圓 四丁目 小野藥店 電話一四四番

讀書子の 忠實な番頭 取次迅速 取引正確 マルトモ柴田書店 平町四丁目 電話一三三四番

おなじみの 昭和タクシーを おわすれないで下さい 電話はお好きな三四三番 平驛前